

令和3年度 大阪府立桜塚高等学校（定時制の課程）
「第2回学校運営協議会」報告

【日 時】令和3年11月8日（月）

【方 法】新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、電話・メール等での意見聴取による開催

【出席者】学校運営協議会委員： 城下 英行、 島村 宏二、 北之坊 晋次、
永井 敏輝、 飯野 哲生、 大村 奈奈

准 校 長 ： 田中 徹

事 務 局 ： 武内 由佳（教頭）、二子石 知恵（主査）、仲尾 久美（首席）

【報告・協議】

1. 3年度学校経営計画における「本年度の取組内容」の進捗状況について

准校長より報告

各委員からのご意見

A委員：コロナ禍において様々制約がある中、精いっぱい努力を重ねていただいていることと推察する。引き続き、臨機な対応をお願いしたい。一人一台端末の整備は9月に済んだとのこと。小中学校では不登校児童・生徒がオンライン出席できた等の好事例を仄聞しています。これを踏まえると本校においても早急なオンライン対応を含めた端末の活用が望まれるところです。進路未定で卒業した生徒に対するフォローについては、外部との連携も視野に入れて取組いいただきたい。また、そこから、コロナ禍における在校生に対する進路指導の留意点も見えてくるのではないかと。教職員のワークライフバランスはおおむね良好な水準であると推察する。

B委員：生徒のみなさんが安心して学校に通うことができるよう、課題を抱える世帯等の支援につきまして、引き続き連携・相談していきたい。コロナの影響が未だ大きい中だが、安全安心に地域との連携が進みますよう期待している。

C委員：概ね当初計画通りに取り組みを進められているように感じた。また、計画内容に変更があったものは感染症予防のためやむを得ないものであり、当初計画の趣旨から逸脱しないよう配慮されたうえで内容が変更されているように思う。全体として学校経営計画が着実に履行されている。

D委員：概ね計画どおり進めることができているように思う。特に異議等はない。

E委員：「わかる授業、充実した授業」をめざす取組みについて生徒さん一人一人、それぞれの知識や技能、理解力の程度などさまざまだと思うが、皆が自信をもって、自分の良いところをより伸ばしていけるような評価体制づくりに期待している。その為にはまず自尊感情を育て、自分を大事にできるようになってから各々が社会と適切に関わっていけるよう学校と保護者との連携が必要不可欠であり、それらが生徒さんの進路の動機付けにもつながっていけばよいと考える。

F委員：コロナ禍の中でこれだけのことを進められて大変よかったと思う。

2. 学校行事の状況について

准校長より報告

各委員からのご意見

A委員：中止や延期は致し方ないと理解をいたしますが、生徒さんの思い出となる行事が開催されるよう最大限のご配慮をお願いいたします。生徒秋季発表大会での生徒さんのご活躍ぶりを可能ならプライバシー等には配慮の上、外部にもアピールできないものか。ご検討いただきたい。

B委員：予定されている行事が実施できますよう祈念している。

C委員：新型コロナウイルス感染症に適切に対応されているように感じた。

授業アンケート結果については、過去4回の結果と比較して、いずれの項目でも最高の評価点となっており、学校の取り組みの成果が現われつつあるのではないかと感じた。

D委員：今年度の社会状況によく対応していると思う。特に異議はない。

E委員：コロナ禍で通常とおりの行事を行うことが難しい中、先生方の懸命な取組にはとても感謝している。球技大会について文化祭の中止は残念だったが、バレーボールでのチームプレイでお互いが力を合わせて頑張ることにより、生徒同士に絆が生まれて良い思い出づくりとなったのではないか。修学旅行も度々の変更や検討を重ねた上何とか実施できそうで本当に良かったです。改めてありがとうございます。

F委員：この時節に種々の行事についてよく計画され、実行されたと思う。

3. 各分掌等報告「現在の状況と今後の取組み」

委員からの意見（項目ごと）

⑨について

商店街における自転車の押し歩き運動へのご理解も生徒さんたちへお願いしていただきたい。

⑩について

「新入生に『勉強したい』という意欲を強く感じる」とのこと、学校説明会でお手伝いさせていただいた者としてうれしく思う。先生方の日々の声掛けや気配りによる学校との適切な関係づくりを今後も継続していてもらいたい。

⑲について

・本校での居場所事業は、その意義の重要性及び生徒からの需要が高いものと推測される。学校側もそれについてより一層教職員で意識を共有し、居場所事業者と連携して生徒たちに寄り添ってもらいたい。それが、困難を抱えた生徒さんにとってセーフティネットとして大きな役割を果たすことになると思う。
・校内居場所事業について一度も中止されなかったことは、大変素晴らしいことであり高く評価させていただく。

4. その他

・授業アンケートの結果について満足にいくものであった。

・授業アンケート結果全般については、上昇傾向にあったが、「生徒自身の意識・取組み」に関する質問項目が他の項目に比べて結果の数値がやや低いのが気になった。今年度取り組みを強化している観点別評価が重要なキーとなるように思う。引き続き（生徒の学力やモチベーションの向上につながる）評価について、試行及び改善を期待したい。